

都留市の自然環境

■水

都留市の代表的な自然資源といえば、やはり豊富な「水」でしょう。富士山の伏流水が湧き出る十日市場地域や夏狩地域は、平成20年7月に、環境省が選定する「平成の名水百選」に選ばれました。この湧水は非常に清冽で、湧水地点には、カジカやバイカモなど、多くの貴重な水生動物・植物が生息しています。また、この湧水は、血糖値を低下させる効果があるともいわれている。「バナジウム」を多量に含むなど、付加価値の高い、他地域には無い貴重

な自然資源だといえることができます。

また、本市の豊富な水資源は湧水だけでなくではありません。山中湖を源流とする桂川や、その支流である数々の河川、そして、まちなかを流れる家中川、中川、寺川など、本市を訪れる方々が皆さん驚かれるほど、都留市内は豊かな水をたたえています。

しかし一方では、水質の悪化や河川へのゴミの不法投棄など、さまざまな課題を抱えていることも事実です。

下のグラフは、平成15年から平成22年までの、家中川の取り入れ口（田原の滝周辺）と、流末（四日市場地区内）の、水質調査結果である「BOD」の数値をグラフ化したものです。「BOD」とは、「生物化学的酸素要求量」といい、水の汚染度を示す数値です。この値が高ければ高いほど、水が汚れていることを表します。

■十日市場・夏狩湧水群の美しい湧水

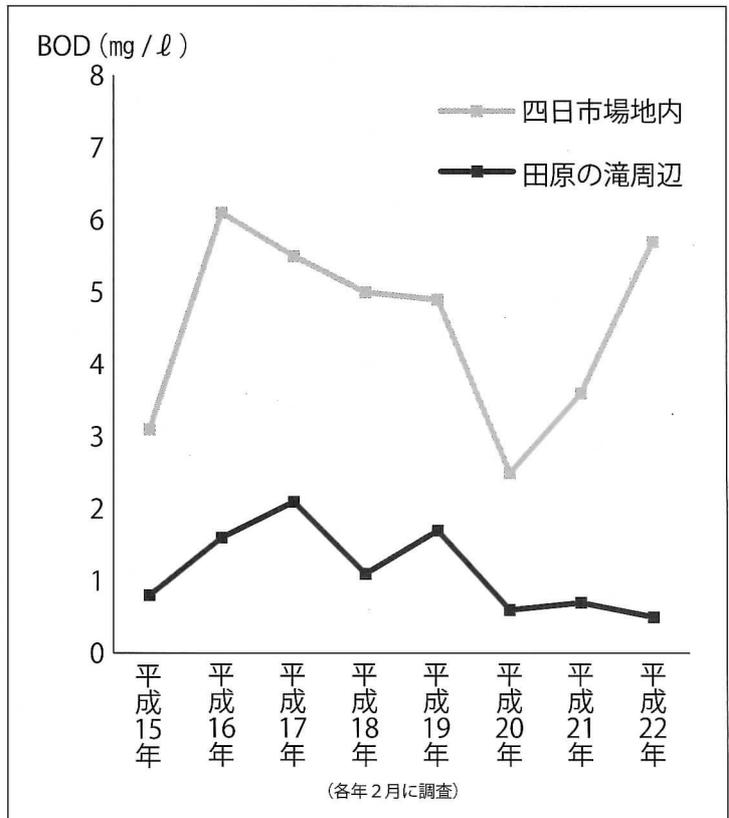


このグラフで、調査地点二カ所の数値を見ると、平成16年から平成20年にかけて、数値の開きは少しずつ小さくなってきていることがわかります。しかし、平成21年からは逆に、開きが大きくなっています。この開きの大きさは、取り入れ口から流末までの間の、河川の汚染度の大きさを示します。つまり、平成21年・22年の大きな開きは、ここ二

年間で、家中川の水質悪化が急速に進んでいることを示しているといえるのです。こうした状況を改善するためには、「川を汚さない」という、一人ひとりの心がけと取り組みが重要です。

■山林・森林

都留市は豊かな山林に囲まれ、春には桜や新緑、秋には紅葉と、四季折々の美しい自然を楽しむことができます。また、「新・花の百名山」に選ばれた二十六夜山や九鬼山をはじめ、富士山を美しくのぞむことのできる名山がいくつも位置しています。このため、週末には首都圏から多くの登山客が訪れ、美しい自然の眺めを楽しんでいます。



■都留市の里山林で遊ぶ子どもたち

